

メリタ[®]コーヒーマーカー

アロマサーモ JCM-512 (2~5杯用)

取扱説明書

保証書



メリタ独自の抽出方式

- ・1つ穴フィルターが抽出時間をコントロール

ガラス製保温ポット採用

- ・煮つまずかずコーヒーのおいしさが長持ち
- ・保温電力ゼロ・省エネタイプ

おいしさと安全性を両立

- ・バイメタル方式採用で、高温抽出でさらにおいしく
- ・抽出途中にポットを外してもしずく漏れしない機能
- ・ハンドル付きフィルターで出し入れ簡単
- ・切り忘れ防止機能付きメインスイッチ

このたびは、メリタコーヒーマーカー「JCM-512」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。保証書はこの取扱説明書についておりますので、販売店の記入をお受けください。この「取扱説明書」と「保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保存してください。



メリタジャパン株式会社




本社 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-26-10











安全上のご注意





アロマサーモ
JCM-512

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
誤った取り扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」に区分してあります。

絵表示の内容

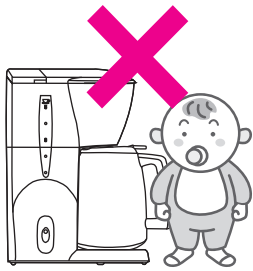
	△記号は、「危険・警告・注意」を示します。図中や近くに具体的な内容(左図は、高温注意)を示します。
	○記号は、してはいけない「禁止」を示します。図中や近くに具体的な内容(左図は、分解禁止)を示します。
	●記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図中や近くに具体的な内容(左図は、プラグをコンセントから抜く)を示します。

 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容	
 改造しないでください。感電・火災・けがの原因になります。	 コンセントは定格15A以上のものを単独で使用してください。他の器具と併用したり延長コードを利用すると異常発熱して発火することがあります。
 修理しないでください。修理技術者以外は分解したり、修理をしないでください。故障や異常があった場合は弊社カスタマーサービスセンターへご連絡ください。	 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
 交流100V以外では使用しないでください。感電・火災・けがの原因になります。	 電源コードを傷つけないでください。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災・けがの原因になります。
 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。	 器具用プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
 器具用プラグをなめないでください。乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。感電やけがの原因になります。	

 注意 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容	
 不安定な場所で使用しないでください。本体が倒れて湯やコーヒーでやけどをすることがあります。	 使用時以外はプラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。
 コーヒー抽出中や抽出直後は上ブタを開けしないでください。蒸気でやけどをすることがあります。	 お手入れは冷めてから行ってください。高温部でやけどをすることがあります。
 壁や家具の近くで使用しないでください。熱や蒸気による変色・変形の原因になります。	 コーヒー抽出中に本体を移動させないでください。コーヒーや湯がこぼれてやけどをすることがあります。
 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。	 蒸気口に手を触れないでください。やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。
 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。	 保温ポットを載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。

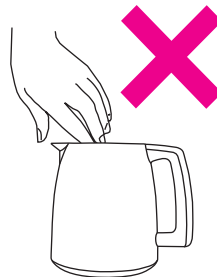
安全上のご注意

アロマサーモ JCM-512



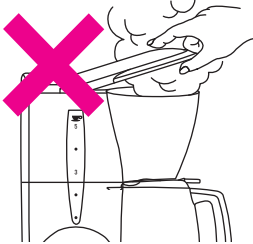
子供使用禁止

お子様だけの使用やお子様の手が届くところで使用しないでください。思わぬやけどや感電などの危険があります。



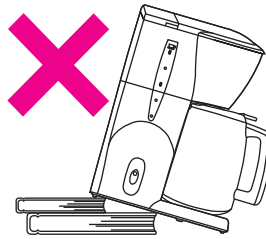
保温ポットに 手を入れない

保温ポットの内部はガラス製です。ガラスが割れた場合はけがをする恐れがあります。



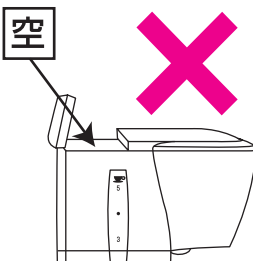
抽出中の開蓋禁止

コーヒー抽出中や抽出直後は上フタを開けないでください。蒸気でやけどをすることがあります。



水平な場所で使用

傾いたり不安定な場所で使用しないでください。本体が倒れて湯やコーヒーでやけどをすることがあります。



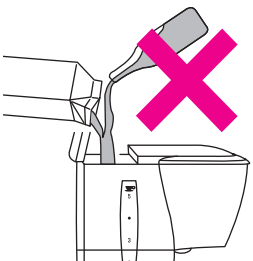
空運転禁止

水槽に水を入れずに運転すると故障の原因になります。



連続抽出は5分待つて

続けてコーヒーを抽出する場合は、電源を切り5分間待ってください。本体が熱いうちに水槽に水を入れると蒸気が出てやけどをすることがあります。



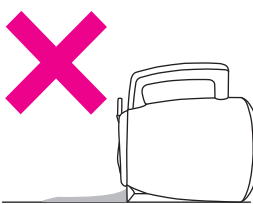
水道水以外使用禁止

水槽に水道水以外のものを入れないでください。牛乳や酒、ミネラルウォーター、アルカリイオン水などを入れると故障の原因になります。



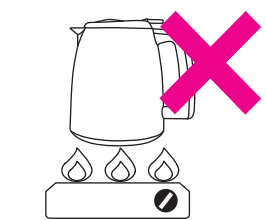
コーヒー粉を 入れすぎない

目安以上のコーヒー粉を入れるとコーヒーがあふれてやけどをすることがあります。



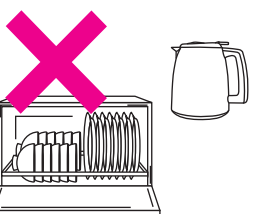
保温ポットの横転注意

保温中に横転させるとコーヒーが漏れ出し、やけどをすることがあります。



保温ポットを火に かけない

保温ポットは直接火にかけないでください。破損や火災の原因になります。



保温ポットを食器洗い 乾燥機に入れない

保温ポットを食器洗い乾燥機に入れないでください。

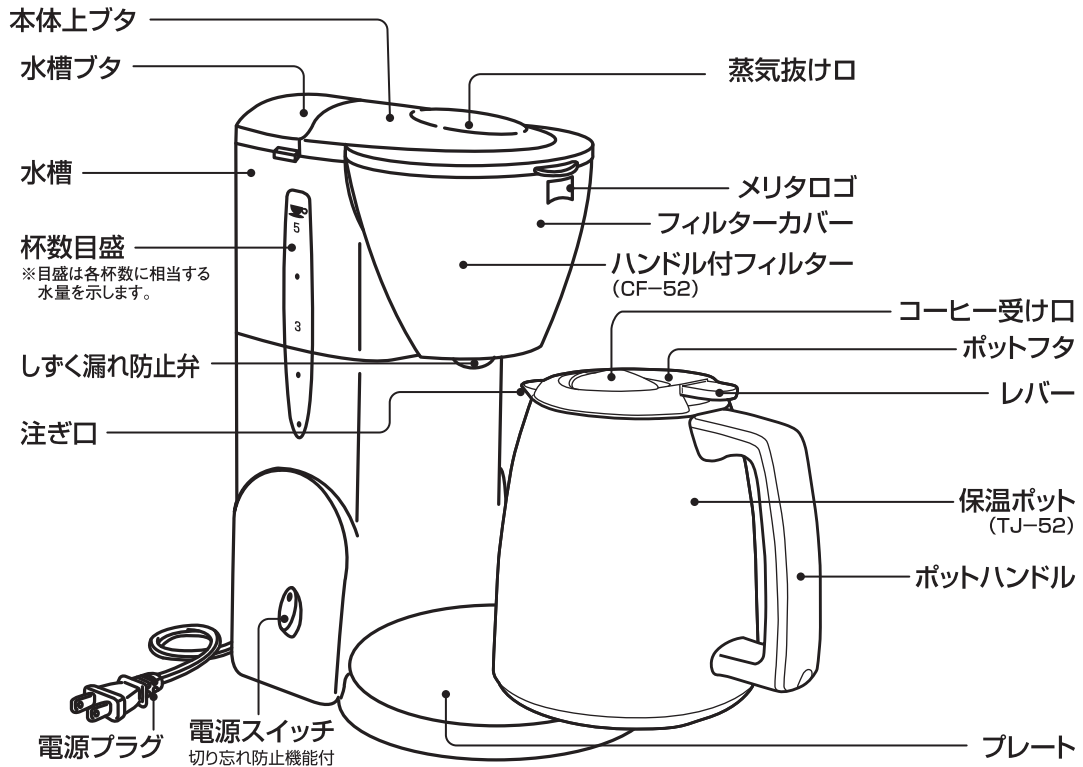


保温ポットを電子レンジ に入れない

保温ポットを電子レンジに入れないでください。

各部の名称

アロマサーモ
JCM-512



ポットフタ裏のパッキンについて

洗浄で外れた場合などご参考ください。

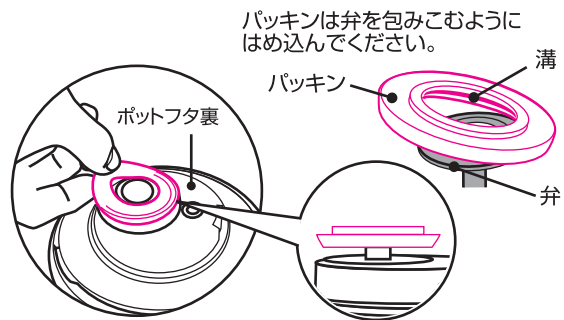
取り外し方

・パッキンの一部を引っ張りながら持ち上げると外れます。

取り付け方

・イラストを参考にパッキンの表裏を確認します。
・パッキン内側の溝に円盤型のフタの弁の淵を入れ、溝に弁が完全に挿入されていることを確認してください。

※パッキンのみの部品販売はしておりません。パッキンを紛失された場合はフタをご購入いただけます。メリタジャパンカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。



同梱付属品



5枚

フィルターペーパー1×2サイズ



メジャー
スプーン

スペアポット等、付属品の購入はお買い上げの販売店またはメリタジャパンカスタマーサービスセンターにご相談ください。

本体取り付け済み付属品

・ハンドル付フィルター(CF-52)・保温ポット(TJ-52)

	仕様
抽出方法	ペーパードリップ式
定格	AC100V/650W
最大水容量	0.7ℓ(5カップ)
温度ヒューズ	192℃
大きさ	幅226X奥行152X高さ311mm
重量	1.9kg

※商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

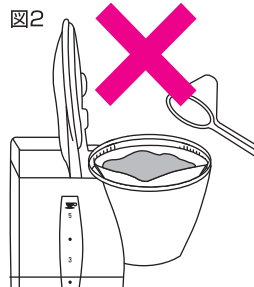
ご使用前に

アロマサーモ JCM-512

初めてご使用になる時や長期間ご使用にならなかったときは本体から取り外せる部分は水洗いし、本体内部は以下の手順で洗浄運転してください。

1. 洗浄運転

水槽に目盛「5」まで水道水を入れ(図1)、フィルターペーパー、コーヒー粉を入れずに(図2)5ページの「ご使用方法:5~9」に従いスイッチを入れます。水槽の水が完全になくなったらスイッチを切ります。



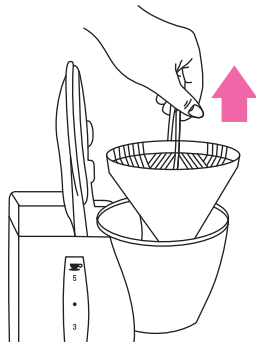
2. 水洗いする



保温ポットの湯を捨て、内部が冷めたら水で軽くすすぎます。本体が冷めたらフィルターを外し、保温ポットフタ、メジャースプーンと一緒に水洗いします。これで準備完了です。

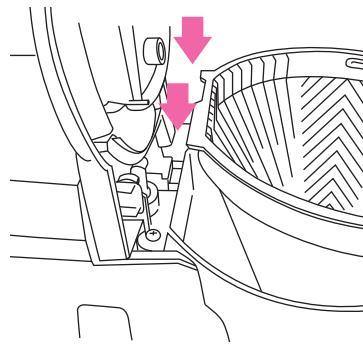
フィルター部分の取扱方法

フィルターの取り外し



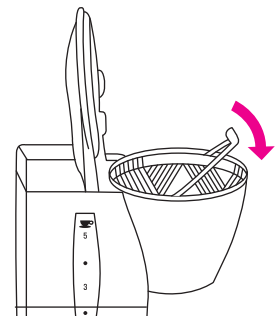
フィルターを外すときはハンドルを持ちそのまま上に持ち上げます。

フィルターをセットする



フィルターカバーとフィルターのくぼみを合わせしっかり差し込んでください。

取っ手を収める



図中の矢印の方向に取っ手を倒して収めます。

注意

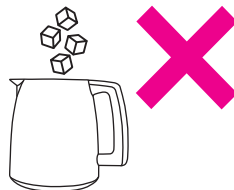
フィルターがきちんとセットされていないと本体上フタがきちんと閉まりません。また、コーヒー抽出のときポットからこぼれたり抽出できない原因になります。

保温ポットについて

付属の保温ポットTJ-52は、保温性能向上のため、ガラス製保温ポットを採用していますので、以下の点に注意してお使いください。また、JCM-512専用に設計されているため他のコーヒーメーカーには使用しないでください。



保温ポットを落としたり強い衝撃を与えると内部のガラス製保温ポットが割れてしまいます。ご注意ください。



保温ポットに氷を入れないでください。傷が付いて内部のガラスが割れることがあります。

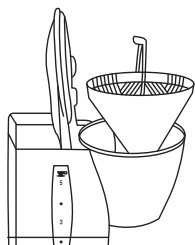


ガラス製保温ポットは、ご使用になる前に一度お湯で内部を温めると、コーヒーが冷めにくくおいしくお召し上がりいただけます。

ご使用方法

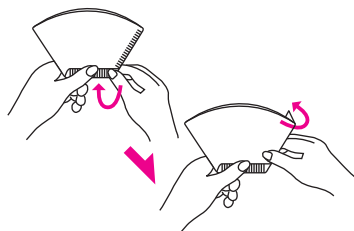
アロマサーモ
JCM-512

1. フィルターのセット



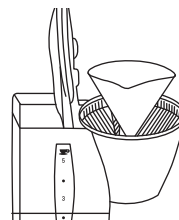
本体の上ボタンを開け、フィルターをセットします。詳しくは4ページ「フィルターの取り扱いについて」をご参照ください。

2. フィルターペーパーを折る



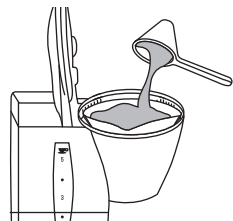
フィルターペーパーの2カ所を図のように折ります。メリタペーパーフィルター1×2をお使いください。

3. フィルターペーパーをセット



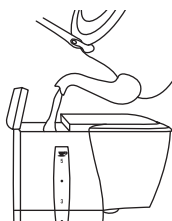
フィルターペーパーを開きながら、フィルターにセットします。

4. コーヒーの粉を入れる



杯数分のコーヒー粉を入れて、本体上ボタンを閉じてください。コーヒーカップ1杯につき付属メジャースプーンすりきり1杯が目安です。

5. 水槽に水を入れる

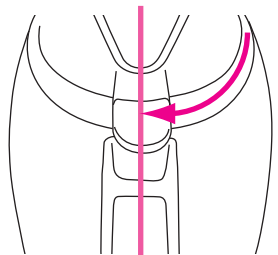


杯数分の水を水槽に入れて水槽ボタンを閉じてください。水槽の目盛りはコーヒーのでき上がり量を示します。

杯数目盛りと水量およびコーヒーの粉の必要量

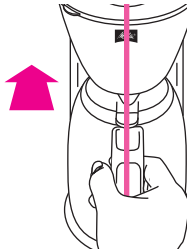
杯数	本体杯数目盛	でき上がり量	コーヒー粉
5	5	625ml	5杯(40g)
4	○	500ml	4杯(32g)
3	3	375ml	3杯(24g)
2	○	250ml	2杯(16g)
1	○	125ml	1杯(8g)

6. 保温ポットのフタを閉める



フタのレバーが取っ手の位置で止まるまで、時計回りに回してください。

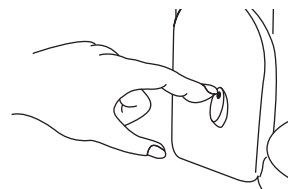
7. 保温ポットをセットする



フタのコーヒー受け口としずく漏れ防止弁の位置が合っていないとコーヒーが漏れることがあります。

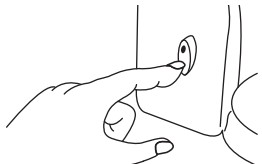
フィルターのしずく漏れ防止弁に保温ポットフタのコーヒー受け口が合い、ロゴとポットハンドルが一直線になるように保温ポットを水平に挿入します。

8. 電源スイッチを入れる



電源スイッチOFFを確認しプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにしてください。電源スイッチのランプが赤く点灯し、しばらくしてコーヒーの滴下が始まります。

9. 電源スイッチを切る



ポコポコという大きな音は抽出終了の目安です。音がしてもしばらくは滴下が続くので、落ちきったことを確認してから電源スイッチをOFFにしてください。ランプの消灯を確認して、保温ポットをゆっくり抜きます。

10. カップに注ぐ



保温ポットのフタのレバーを押しながらカップに注ぎます。

使い終わったら電源スイッチをOFFにしてから電源プラグを抜きます。電源スイッチは切り忘れ防止機能付きです。ONにして約10分で自動的に電源が切れます。再使用する場合は、電源スイッチをいったんOFFの位置に戻してからご使用ください。

Point

お湯であらかじめ保温ポットを温めていただくと、よりおいしいコーヒーができます。

ご使用方法

アロマサーモ
JCM-512

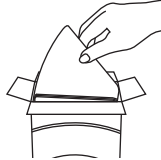
おいしいコーヒーを味わうために

挽きたてのコーヒー粉を使う



できるだけ新鮮なコーヒー豆を、入れる直前に挽くことをお勧めします。保存は密封容器などに入れて冷蔵庫で保存してください。

1回ごとに新しいフィルターペーパーを



毎回新しいメリタフィルターペーパー1×2をご使用ください。

清潔な器具で



保温ポット、フィルター、コーヒーカップ等はいつも清潔にしてください。毎回、使用前に洗うことをお勧めします。

保温ポット、コーヒーカップを温める



あらかじめ温めておくのと冷めにくく、おいしいコーヒーが召し上がれます。特に保温ポットは使用する直前に熱湯を入れ温めることをお勧めします。

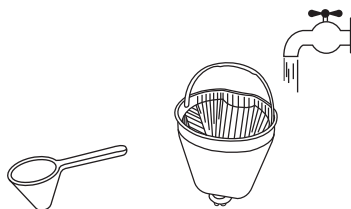
お召し上がりはお早めに



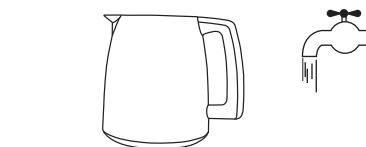
長時間の保温は風味を損ないません。できるだけ早くお召し上がりください。

お手入れ方法

水洗い



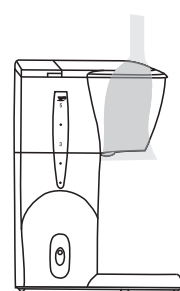
水ですすぎ洗いしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗ってください。その後、洗剤が残らないようすすぎ洗いをしてください。保温ポットフタの内部に水が残ることがありますが、そのまま使用しても水が保温ポットに入ることはありません。レバーを上にしておいておくことで蒸発します。



内部を軽く水ですすぎ洗いしてください。汚れがひどい場合は、外側の汚れは湿った布でふいてから、乾いた布でふき取ってください。保温ポットの詳しい洗浄方法は、保温ポットの取扱説明書をご覧ください。

- 保温ポットの内部に手を入れて洗わないでください。ガラスが割れてけがをすることがあります。
- 保温ポットは食器洗い乾燥機で洗わないでください。

水洗いできません



本体の汚れは、湿った布でふいてから、乾いた布でふき取ってください。

- 本体は絶対に水をかけたり、水につけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

シナー、ベンジン、ベンゾール、除光液、ミガキ粉、たわしなどを使用しますと変形、変色、変質したり、表面に傷が付いたり破損の原因となりますのでおやめください。

●1~2か月に一度、メリタコーヒーメーカークリーナー（別売り）を使用してクリーニングしてください。水あかなどを取り除き故障を防ぎます。詳しい使用法はコーヒーメーカークリーナーの取扱説明書をご参照ください。

修理を依頼する前に

まず、以下の内容をチェックのうえ、症状が改善しない場合は弊社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

症状	ここをお調べください
ドリップができない	■ 電源プラグがコンセントに入っていますか？
コーヒーができない	■ 電源スイッチはONにしましたか（ランプは点灯していますか）？ ■ 水槽に水は入っていますか？ ■ フィルターにコーヒー粉を入れましたか？
コーヒーがあふれる	■ フィルターペーパーを正しく折りましたか？ ■ 保温ポットがプレートに正しく載っていますか？ ■ コーヒー粉を入れすぎていませんか？ ■ 保温ポットのフタは確実に装着されていますか？ ■ 空の保温ポットをセットしましたか？
コーヒーがぬるい	■ 保温ポットのフタは装着されていますか？ ■ 長時間保温していませんか？ ■ コーヒーカップや保温ポットをあらかじめ温めましたか？